令和6年度事業評価結果(課•室)総括表

 会計区分
 一般会計

 課·室名
 経営改革課
 (単位:千円)

					事業	区分					財法	原内訳			評価に基	まづ	く今後	の対応
事業名	区分	経費区分	福井県長期ビジョン における位置づけ	関連する県の計画等	実行予算	また おおお おお お か と か と か と か と か と か と か と か	事業開始年度	経過 年数	令和 7年度 予算額	国庫	起債	その他 特定 財源	一般	拡充	整耀理縮低続	木廃止	終期の見直し	そ の 見直し額 他
県内企業のDX推進事業	拡充	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン	0	0	R3	5	151,532				151,532	0				
事業承継支援事業	継続	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン			R3	5	54,228				54,228		0			5,378
経営人材スキルアップ事業	継続	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン			R5	3	13,468				13,468		0			
金融貸付制度(制度融資)	継続	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン		0	S33	68	28,940,410			28,940,410			0			
金融貸付制度(保証料補給·損失補償)	継続	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン		0 0	S43	58	99,914				99,914		0			
金融貸付制度(利子補給補助金)	継続	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン			H21	17	13,459				13,459		0			
チャレンジ応援による若手起業家の創出・育成プロジェクト事業	拡充	政策的経費	I 個性を伸ばす(人材力)	ふくいNEW経済ビジョン	0		R4	4	13,752	10,241			3,511	0				
福井型スタートアップ創出支援事業	拡充	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン			R4	4	16,223	7,611			8,612	0				
ふくい型ベンチャー・エコシステム強化事業	拡充	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン			R3	5	8,828	4,414			4,414	0				
先進技術活用による地域開発プロジェクト	継続	政策的経費	V ともに進める(総合力)	ふくいNEW経済ビジョン	0		R6	2	9,000				9,000		0			
新規創業支援事業	継続	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン			R3	5	41,942	20,971			20,971		0			218
県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業	継続	政策的経費	Ⅱ 成長を創る(産業力)	ふくいNEW経済ビジョン	0		R5	3	4,937	647			4,290		0			
					4	9 2			29,367,693	43,884		28,940,410	383,399	4	6 1 1			5,596

県内企業のDX推進事業

											•						
区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局	名	産業労働部	3	課名	経	営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主			業支援センター、(一社)	福井県情報システム工業会	事務		自 治	事務	事業	•	実行予算	事業	R3	年度	事業終了 予定年度		
事業実施	方法	補助、直営			区分				事業区分	-	補助金	開始	経過年数		(見直し年	R8	年度
補助	率	定額					法定受	受託 事務	务		その他	年度	5	年	度)		
福井県長期における位		分 野〔 政 策〔	Ⅱ 成長を創 7 未来志向:	る(産業力) 型の産業革新]	関	連する県の	の計画等	ί	ふ<いNEM	/経済ビジョ	ョン			,	
[解決すべき問	題·課題]						[問題·	課題を表	す客観的デー	タ]							
社内にDXを	進められ	Xをどのように るIT人材がいな 材が不足してい		分からない			ユーザー活用でき	企業がデジ る人材」が5	上で行政や支援機 タル化を進める」 66.0%(R4.9月 足対策として、現	で求る 県デ	かる人材として「 ジタル化に関す	導入したシス・ るアンケート)	テムを効果的に	使用する	% るため、データを <u>ク</u>	分析・	
[事業目的]																	
				コロナ/ポストコロ: を図り、県内企業 <i>の</i>									必要であ	る。こ	うした経営で	改革を前	対提に、
①DXオ- ②専門家	ープンラボ とを企業に	派遣し、生産の 🤅	対応や企業DX社 たれやデジタル化	研究会の運営等を第 この実施レベルを分 成。ラボの出張相談	析。デジタ												
(2)IT 1 ++/	の女代 7年	(2/25 000エ	ш)														

- (2)IT人材の育成·確保(35,980千円)

②レベルに応じたIoTやAI、データ分析実践講座 ④自社でのDX推進を見据えた業種別の先進事例導入研修

- ①経営者向けDXゼミ ③ユーザー企業サイン向けのリスキリング講座 ⑤学生や次世代のIT人材の創出を目指した学習会の開催
- (3)デジタル技術・先進技術導入に対する支援(91,018千円)
 - ①社内DX推進体制整備の支援

②ものづくり企業のデジタル変革応援事業

③ふくいDX加速化補助金 ⑤福井発の先端デジタル産業創出支援

④先進技術の国内外への発信

● I曲 / I / D 0 0 / J C		_	
[受益者] 県内	中小企業	[想定される受益者数]	約27,000社
前事業の有無・実	□ 無 ■ 有 事業名 IoT·AI普及促進事業 (実績) IoT専門家派遣数 19社 IoT·AI·ロボット等導入促進事業補助金 10社 IoT·AI活用人材育成講座 10社参加	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状	₹	他県の状況	【富山県】〇中小企業トランスフォーメーション補助金 補助率1/2~3/4 補助上限 100万~500万 〇ローカル5G活用生産性向上推進事業 補助率 1/2 補助上限 2,500千円×2件

県内企業のDX推進事業

区分	拡充	経費区2	分 政策	的経費	要求	基準	内	音	3局名	産業労働部	課	名	経	営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	È体	県、(公財)ふく	い産業支援セン	/ター、(一社)	福井県情報シス	ステム工業会		■ 自	治 事 務		■ 実行	予算	事業	R3	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	補助、直営					事 務 区 分			事業区分	■ 補 月	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R8	年度
補助	率	定額						□法♬	三受託事務		□ その	の他 ⁻	年度	5	年	度)		
区分	事	業費	国属	<u> </u>	起	債	そ(の他	——舟:	財源			国	庫、その他	財源の	名称等		
予算額		151,532								151,532								
[予算額の推移	多等]																(単位	过:千円)
	X	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				令和7年	度予算	額の増減理	曲			
	当初予算	額の推移		174,270	199,983	176,180	150,542	151,532)									
2	2月現計予算額の推移 139,458 148						116,513		- 需要減少に - 増加	よる事業費見	見直しによる	る減少と補	助事業	の新設(先	端デジタ	アル産業創出す	を援事業)(こよる
	決算額の推移 118,705 13																	
主な増減		う事業を新たI 令和6年度は、		雇用促進事	業補助金を	5G実証実験	飨補助金、I↑	「エンジニア	養成スクール	⁄を廃止。ふく	いDXスク	一ルを創設	ቪ 文					
[成果指標等の	D推移] 																	
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・利	責算根拠		
成果指標	県の支援を 組んだ企業	通じてDXに取 数	双り(目標) 実績	213	271	(300) 416	(300)	(300)	(300)	(300)	相談、専門 (新経済ビ	l家派遣、作 ジョンKP	⊭走支援 [)	、各種研修	₹、補助₃	金		
活動指標	アウトリー	チ活動件数	(目標) 実績			(100) 69	(100)	(100)	(100)	(100)	県および3 週1回2社		一が行う	ラアウトリー	-チ活動	件数		
[事業の評価]				1														
	前午度の		5年の中見か	- 			実績を悶	まえた令利	ワケ曲の赤き	= -								
	1.0)実績・成果指標					ノ(小人 こよ	1007272 151	17年度の変	と			<u> </u>	事	業評価	l		
相談件数や専門導入についても・ラボでの相談(・専門家派遣件)・研修参加者数・ふくいDX加速	門家派遣数につる の事請が は数 215件 数 50社(1月 123名(1月	ついて、目標を超 「あり、企業のD〉 (1月末時点) 日末時点)	えて達成して えて達成して くを支援できて	<u>************************************</u>	業等の設備	速化補助金	(ものづくり と、高度化補	企業のデジ 助金)を実績	タル変革応技 責に合わせて	_要 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是 是		掘充 拡充 継続 整理統合		編減 縮減 休止 廃止		終期の見直し完了	見直	 夕額

事業承継支援事業

	区分	継続	経費区分		要求基準	一部夕	<u></u>	部局名	産業労働部	3	課名	糸		1	課長名	 藤原	宏子
						HIP		自治事		_	実行予算		R3	年度	事業終了	, ראי יהרו	<u></u>
	事業実施方		補助、直営			事務	-	п и т	事業		補助金	事業 開始	K3 K3 K3 K3 K3 K3 K3 K3	TIX	予定年度	R9	年度
	補助率	72	2/3			区分	I_{\sqcap}	法定受託事	区分	l	その他	年度	5	年	(見直し年 度)	113	TIX
	 		分 野〔	Ⅱ 成長を創)		県の計画等			 /経済ビジ:		'	ix)]
			政策〔	/ 木米志问	型の産業革新		<u> </u>	「888」 = 885 女	: 丰士安知的二	<u>/</u>							
L 円牛力	夬すべき問題	*							表す客観的デー	ك.]							
事業の事	承継の選択肢 業のブラッシ	が見えな ュアップの	くなってしまってい。 設備投資等を行う	る事業者が依然と多 祭の資金面などが課	く潜在していること、事 題となっている。	業承継を見掘			で70歳を超える 5割の約3.5千者			は約1万4	千人。うち5	割の約	7千者が後継	者未定ま	たは廃
[事]	<u></u> 業目的]																
		廃業を防	ちぐため、①事業	美承継ニーズの振	り起こし、②承継丘	企業の磨き	上げ	により、事業	[承継を促進。								
[事	業内容]																
事第	する。	業承継		のブラッシュアッ	ノプの為の設備等を	を行う事業	者を	支援。引継き	うま援センター	·の事	業承継計 画	画の策定	や売り案件	‡登録	を行ってい	ることを	要件
		業引継	ぎ(M&A)を行 千円 買手:50		手の両方に奨励金	を支給。											
			継ぎ支援センタ の開催、事業承紀	'ーによる支援 継ポータルサイト	の運営												
[3	受益者] 経	営者が6	0歳以上の中小企美	業者等				[想定され	る受益者数]	14,0	00者						
育	前事業の有無・	実績	■ 無 □ 有 事 (実績)	業名					業の有無・ 割分担	●第		業名					
ī	市町との連携	状況						他県	4の状況	補助対補助対	対象者:①県 ②県内の 対象経費:①! 対容:①補助!	内に事業所)事業を承結 事業承継事 率:1/2以に	ポート事業費 fを置く中小1 継することを 事業 ②視察事 内 補助上限 補助上限額	企業者 予定し 事業 艮額:50	ている後継者(6 0万円		

事業承継支援事業

区分	継続	t	経費区分	政策(的経費	要求	基準	一部外	·	隔名	j	産業労働部		課名		経語	営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	三体	福井	商工会議	議所					■ 自	治 事	務			実行予算	事第	¥	R3	年度			
事業実施	5方法	補助)、直営					事 務 区 分				事業 区分		補助金	開始	台	経過年数		予定年度 (見直し年	R9	年度
補助	率	2/	3						□ 法第	定受託:	事務	E 73		その他	年度	ŧ	5	年	度)		
区分	马	業費		国庫		起	債	そ0	D他		一般則	財源				国原	車、その化	財源0)名称等		
予算額		54,	228									54,228									
[予算額の推移	多等]																			(単位	ī:千円)
	区	分	\		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					令和'	7年度	予算額	質の増減	里由			
	当初予算	算額の	推移			75,913	67,572	59,606	54,22	3											
2	月現計	予算額	の推移		32,219	56,782	63,066	58,647		— M&A 将励会	奨励金	さの売り手側の 金に女性枠を	の金額を追加	預を減額 □							
	決算額	頭の推	 移		13,715	47,890	55,156				Z 1H1147)		رر ب <u>ات</u>	н							
前年度ま 主な増減	找理由	R5:M	1&A奨励	ンド事業を設定の件数を 対象の件数を ンドの奨励会	増加、サー			察旅費の件	数を減少												
[[次入]日[示寸]	<u>区</u>	分	<u> </u>		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間	日樺	最終目標				日煙		とう 古・	 積算根拠		
成果指標	県内の事件数(第3	 業承継引	 継ぎ実施	他 (目標) 実績	(23) 36	(23) 36	(23) 47	(35)	(35		(70)	(105)	事業為	承継・引継き	支援も				年度)を使用		
ンプチムナドナー	補助金・渉	受励金を	活用する		(20)	(50)	(55)	(55)	(65) (1	30)	(195)	4-+- D-1- /		_ ¥/ -						
活動指標	業者数			実績	14	49	60						無助	金、奨励金件	安义						
[事業の評価]	•				•			'				<u>'</u>									
N en lle late				等の定量的				実績を踏	まえた令	07年度	の変更	点			Ī		Į	事業評価	西		
成果指標につ 達成予定。 活動指標につ						M Q. A 将								□ 拡	充		縮減		終期の見直し	見直し	夕額
励金(14件)合	v: Ci& 12/ 計で49件	-。年度末	・・ エネ価・ 見込は5	55件であり	並(33円)、 達成予定。		M&A奨励: 新たに女性		則の金額を	減額、奨	協金ま	らよび補助金	ic	□ 継	続		休止		完了	ı	5,378
														■ 整理	統合		廃止		その他	•	5,570

経営人材スキルアップ事業

				7	17 (13)	• •	•••	J -	>1 <								
区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	:	産業労働部		課名	経	営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	体	福井商工会議所			± 7/2		自 治 事	務	+ ₩		実行予算	事業	R5	年度	事業終了	1	
事業実施	方法	補助			事務	l			事 業 区 分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県10/10			- /3		法定受託事	F務	- /3		その他	年度	3	年	度)	ı	
福井県長期		分 野〔	Ⅱ 成長を創	る(産業力))	関連する	。但の	計画等	٢	ふくいNEW	/終済ビジ=	a^/			٦	1
における位		政 策〔	7 未来志向	型の産業革新)						ハエハロン					
[解決すべき問	題·課題]						[問題・課題を	:表す:	客観的データ	夕]							
コロナ禍や	物価高騰の	り長期化など、経	済・社会情勢が	変化する中、ビジネ	、スモデル(の変		現	状における	る企	業の経営訓	果題(福井	商工会議	所アン	ンケート調査	<u>:</u>)	
		(新事業の創出な						方式	攻革(56.9	9%)	、賃上げ・特	物価高(5	3.2%)、	新規	事業創出(3	0.2%)	
 [事業目的]																	
	物価言職	の長期化など ほ	■内重業者が今:	までに経験したこと	つかい従	培に	直面する山	7 σ)従愔を垂	い批	え 持続的	か成長を	こしていく	ため	経学屋が新	担重業績	訓出の
				と他企業の経営層に										,,,,,,		770	11110
[事業内容]																	
	美創出を目	指す経営層向け	プログラムの実	施(13,072千円))												
		研修を実施	- (= W +	/			_										
				営幹部等を中心に15													
・旧子思	は誠の高い	終 日間に 文語し	(もりつため、5	受講者には80千円	/人の参加	川貝で	ど貝担										
(2)先進·成	功事例共才	有プログラムの実	 上施(396千円))													
·新事業	の創出や	先進的な取組み	により成果を出	した県内経営者(先								営者の講	演会を1[回実施	<u> </u>		
・参加者	が先進・成	戈功事例を共有し	_人 自社のビジネ	スモデル構築の際の	の参考にす	するこ	ことで、県内:	企業(の経営力を	を向.	上						

[受益者] ビジネスモ	デルの変革を目指す県内事業者 - アルの変革を目指す県内事業者	[想定される受益者数]	75社/年
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 (実績) ・県内企業の経営層向けに新事業創出セミナーを 全12回実施・県内企業の経営層15名が受講し、そのうち12名がセミナーを修了し、新事業の創出を進めている。	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	

経営人材スキルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求	ド基準	内	部	局名	産業労働部	課名	7	経	営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	È体	福井商工会議所	<u>-</u>			-t- 75	■自	治 事 發		□ 実行予	算 事	事業	R5	年度			
事業実施	拖方法	補助				事 務 区 分			事業区分	■ 補助	金 開	射始	経過年数		予定年度 (見直し年	R7	年度
補助	率	県10/10				L /3	□ 法定	受託事務		□ その	他 増	F度	3	年	度)		
区分	事	業費	国庫	走	记債	そ(D他	——舟	段財源			国	庫、その他	財源の	名称等		
予算額		13,468							13,468								
[予算額の推移	多等] ————————————————————————————————————															(単位	立:千円)
	区	分	3年月	4年度	5年度	6年度	7年度			4	令和7年周	度予算額	額の増減理	曲			
	当初予算	額の推移			14,652	13,468	13,468										
2	月現計予	算額の推移			14,652	13,468											
	決 算 額	 〔の推移			13,505			-									
前年度ま		 先進・成功事例共る 講師の旅費単価の		施回数の減(2回→1回)												
前年度ま 主な増減 [成果指標等の	域理由	先進・成功事例共満語の旅費単価の		施回数の減(2回→1回)												
主な増減	域理由				2回→1回)	6年度	7年度	中間目標	最終目標			目標	栗・指標の考	きえ方・*	積算根拠		
主な増減	成理由 D推移]	講師の旅費単価の	増			6年度 3%増	7年度 3%増	中間目標3%堆	3%増	「福井県長期※セミナーに	Bビジョン C参加した	 」に基:	 ブくチャレン	 ンジ目			
主な増減	が推移] 区 年間売上額	講師の旅費単価の	(目標) 実績 (目標)		5年度 - (75)				3%增	「福井県長斯※セミナーに参加事業者数	_参加した	」に基で ・翌年度	ブくチャレン ぎ以降の決	ンジ目 算	票(KPI)		
主な増減 「成果指標等の 成果指標 活動指標	が推移] 区 年間売上額 セミナーに	講師の旅費単価の分割を) 当 (目標) 実績		5年度	3%增	3%増	3%埠	3%增	※セミナーに	_参加した	」に基で ・翌年度	ブくチャレン ぎ以降の決	ンジ目 算	票(KPI)		
主な増減 「成果指標等の 成果指標	が (本間売上都 セミナーに 数	講師の旅費単価の分割を	(目標) 実績 (目標) 実績		5年度 - (75)	3%増(75)	3%増	3%埠 (75)	3%增 (75)	※セミナーに	_参加した	」に基で ・翌年度	づくチャレン を以降の決 経済ビジョ	ンジ目 算	票(KPI)		
主な増減 「成果指標等の 成果指標 活動指標 「事業の評価」 新規事業創出 絞って広報活	が が が が が が が が が が が が が が	講師の旅費単価の分別では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	が (目標) 実績 (目標) 実績 の定量的評価 は、一定規模以 加事業者数15額	を達成した。	5年度 - (75) 30	3%増(75)	3%増(75)	3%埠 (75)	3%增 (75)	※セミナーに	_参加した	」に基で ・翌年度	づくチャレン を以降の決 経済ビジョ	ンジ目标 算 IンKPI	票(KPI)	見直	U額
主な増減 「成果指標等の 成果指標 活動指標 「事業の評価」 新規事業創出 絞って広報活	が が が が が が が が が が が が が が	講師の旅費単価の分割を表現しています。 分のでは、おりまでは、おります。 学には、おります。 学には、おります。 学には、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またで	が (目標) 実績 (目標) 実績 の定量的評価 は、一定規模以 加事業者数15額	を達成した。	5年度 - (75) 30	3%増 (75) 実績を踏 試者層の負担	3%増 (75) まえた令和	3%塩 (75) 7年度の変 るよう、セミ	3%増 (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75) (75)	※セミナーに 参加事業者教 	数(ふくい	Jに基で で で NEWA	づくチャレン を以降の決 経済ビジョ	ンジ目标 算 IンKPI 事業評価	票(KPI)) 西	見直	し額

金融貸付制度(制度融資)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	産業労	金働部	課名	糸	経営改革課	課長名	藤原 宏子
事業主 事業実施 補助:	方法	金融機関 貸付 –			事務区分		自 治 事法定受託	務事区	業 分	実行予算 計 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	S33 年度 経過年数 68 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	- 年度
福井県長期における位		分 野〔 政 策〔	Ⅱ 成長を創る(産 7 未来志向型の通]		県の計画等	1	(ふくいNEW	/ /経済ビジ)
[解決すべき問	題·課題]						[問題・課題を表	す客観的デ	·一夕]					
物価高騰等	の影響を	受けた中小企業者	í等に対する迅速な	資金供給の継続			令和5年度末	制度融資	保証残	高1, 161億	円			
[事業目的]							•							
県内中小公	企業者等の	D経営基盤の強化	および事業の活性	化を促進するために必要な資	金についての	の融資	の円滑化を図	図ることに	より、オ	県産業の発	無に寄 <u>-</u>	することを目的	的とする。	
②中小企 ②中小企 ④ ②中小企 ④ ②中, ④ ②性 ④ ②性 ②性 。 ②性 。 会 会 の の の の の の の の の の の の の	育防資門支再資に支支成止金滑援生金を援資資融支金援資金を援資資金を選資資金を選責金を選手を表して、 一次のでは、	爰資金(融資枠94 (融資枠6億円) 資金(融資枠10億 資格10億円)【無担 【有担保】 融 金(融資枠5億円) (融資枠4億円) (経保)(融資枠2億	諸の 諸の 語の 語の 語の はの はの はの はの はの はの はの はの はの は	:運転7年以内(据置1年以内) :運転7年以内(据置1年以内) :運転5年以内(据置6ヵ月以内]:7年以内・10年以内(据置1年 引:15年以内(据置1年以内)、同]:15年以内(据置1年以内)、同]:運転10年以内(据置1年以内)、同]:運転7年以内(据置1年以内)]:運転7年以内(据置1年以内)]:15年以内(据置1年以内)、同]:10年以内(据置1年以内)、同	設備 7年以 引)、限 7年以 別、限 7年 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 別 の 日 日 日 日	内(振 3,00 以内)で 00万 りの りの りの は 以内(1 0年 り 0年 り	置1年以内)、 0万円(売掛債 限度額:8,00 円 合は2年以内 (据置1年以内) (据置1年以内) 据置1年 以内(据置1年	限度額:2 養権等の 0万円 3)、限 ででである。 3)、限 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのある。 でのある。 でのある。 でのある。 でのある。 でのある。 でのある。 でのある。 でのある。 でののである。 でのでのである。 でのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのである。 でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	(;000) (i:8,00 (i:3,50 1億5,(度額:1	万円)0万円)0万円)00万円 (3 億5,000万	うち運転 円※親加	資金8,000万F	円))万円	
[受益者]	県内中小介						[想定され	る受益者数	_	127,000社				
前事業の有	無·実績	■ 無 □ 有 事業 (実績)	名					業の有無・ 分担		■ 無 〕 有 ³ 殳割分担)	事業名			
市町との連	善携状況	ている。		をしており、中小企業者等の資金調達 その認定業務を行っており、迅速な認			他県	の状況	他	都道府県におり	ハて同様6	D資金貸付実施		

金融貸付制度(制度融資)

区分	継続	経費	区分	放策的経費	要求	基準	内		部局名	봌	産業労働部		課名	経	営改革課		課長名	藤原 宏子
事業主	[体	金融機関					= 26	■自	治	事 務			実行予算	事業	S33	年度	事業終了	
事業実施	方法	貸付					事 務 区 分				事業区分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	- 年度
補助	率	_						口法	定受	託 事 務			その他	年度	68	年	度)	
区分	事第	費	[国庫	起	債	そ(の他		一般	財源			国	車、その他!	財源の	名称等	
予算額	28,	940,410)				(諸)	28,940,4	110									
[予算額の推移	等]																	(単位:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					令和7年	度予算額	額の増減理	由		
	当初予算	額の推移	§	63,651,650	48,567,520	41,588,420	39,141,340	28,940,4										
2 /	月現計予	算額の推	基移	38,295,450	35,168,540	34,970,780	23,365,120		亲	新型コロナ! 斉進捗に伴	ウイルス感染 う減少	と症・物値	西高騰伴走支 	爱資金 <i>0</i>)取扱終了	および	過年度のコロス	ト関連融資の返
	決算額	の推移		34,646,400	31,887,890	29,570,780			"	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- ""							
前年度ま主な増減	理由	3年度にお	いてはコロナ関	連融資の過年度が	分および新資金の	ス感染症対応資金 創設の影響により 資残高の減により)当初予算增加。	も算額が増加。	П.									
[成果指標等の											I							
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		中間目標	最終目標			目標	・指標の考	え方・積	算根拠 ————————————————————————————————————	
成果指標			(目標) 実績									貸付金	であり、目標	設定は図	団難			
活動指標	融資実行額		(目標) 実績	9,767,111	12,547,841	22,975,350						貸付金	であり、目標	設定は困	団難			
[事業の評価]	<i>16</i>									<u></u>					-	. NIV I		
今和3年度は			・成果指標等の			4年117日十六ノル	実績を踏まえ				タの出協 <i>士 合</i>	\\ \\			事	業評価		
	保証料·利子	補給を伴う	う制度融資を創	操りが急激に悪化 設。県内企業の		新型コロナウイル 融資支援を令和6 令和7年度におい	年度をもって終	冬了。			カリカは投ぐさ	1 ₁ 0	□ 拡充		縮減		終期の見直し	見直し額
令和3年度にま	おいてはコロ	ナ関連融資	賢の利用は低調に 連融資の借換が	こ推移し、令和4、 増加した。	5、6年度にお	744/平反にのい	・いる、微具作り	小小牛でコレ	1ノ 作用	別に大り。			■ 継続		休止		完了	
													□ 整理統領		廃止		その他	

金融貸付制度(保証料補給・損失補償)

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	<u></u>	部局名		産業労働部		課名	紅	Z 営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	E体	県信用保証協会	₹		± ₹⁄7		自 治 事	務	+ ₩		実行予算	事業	S43	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助			事務区分				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	-	年度
補助率	率	1/3、1/2、全額	補給				法定受託	事 務	L 23		その他	年度	58	年	度)		
福井県長期 における位		分 野〔 政 策〔	Ⅱ 成長を創 7 未来志向	る(産業力) 型の産業革新)	関連する	る県の	計画等	(ふ<いNEM	/経済ビジ:	ョン)	
[解決すべき問	題·課題]						[問題·課題	を表す	客観的データ	タ]							
保証	E料は借入	時に一括で支払	ふうため、事業者(の借入時の負担がた	大きい		令和5年度	[末制	度融資保	証残	高1, 161	億円					
[事業目的]																	
本県施策^	への政策誘	導や企業経営の	の改善を図るため	り、本来事業者が負	担すべきり	果制原	度融資にかれ	かるほ	R証料の一	部を	を県が負担	する。					
[事業内容] 以下の資金]	 貸付に付阪	値して実施する 値	呆証料補給等														

- <保証料補給>
- ·中小企業育成資金(保証料補給対象分)
- ·関連倒産防止資金
- ・経営安定資金(環境変動分、セーフティネット保証支援分、危機関連保証支援分、原材料・原油価格高騰対策分)
- ・長期借換支援資金
- ·開業支援資金
- ・産業活性化支援資金(おもてなし産業支援分、新事業展開等支援分、県外・海外販路開拓支援分、IoT・AI等導入支援分、経営活性化支援分、BCP対策支援分)
- ·事業承継支援資金
- ·事業承継支援資金(経営者保証解除支援分)
- <損失補償>
- ·関連倒産防止資金·中小企業再生支援資金

[受益者] 県内中小公	P業	[想定される受益者数]	約27,000社
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況	市町においても貸付制度があり、一部の市においては同様に保証料補給を実施している。	他県の状況	一部の都道府県でも保証料補給制度を実施

金融貸付制度(保証料補給·損失補償)

区分	継続	経費区	分 政策	的経費	要求	基準	一部夕	 	部局名		産業労働部	3	果名	糸	Z営改革課 -		課長名	藤原	宏子
事業主	主体	県信用保証	協会				古刄	■ 自	治 事	務	古 **	口実行	予算	事業	S43	年度			
事業実施	拖方法	補助					事 務 区 分				事 業 区 分	■補	助金	開始 年度	経過年数	Þ	予定年度 (見直し年	-	年度
補助	率	1/3、1/2、	全額補給		1			□法	定受託	事 務		■ そ	の他	平 反	58	年	度)		
区分	事第	養	国		起	<u>.</u> 債	そ(の他		一般	財源			[国庫、その代	財源の	名称等		
予算額		99,914									99,914								
[予算額の推移	多等]																	(単位	位:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					令和7年	度予算	額の増減	里由			
	当初予算	額の推移		131,875	99,221	409,169	114,779	99,9											
2	月現計予	算額の推利	Š	308,321	361,854	952,221	113,274		新型	コロナウ こ伴う》	ウイルス感染 咸少。	¦症・物価高	騰伴走支	援資金(の取扱終了	および	過年度のコロナ	関連融資	の返済
	決算額	の推移		81,230	150,275	540,745				C11	0								
主な増減 [成果指標等 <i>0</i>	火・主口1	2年度は経営 3年度におい 4、5、6年度(こおいてはコ	ロナ関連融	中 及力の6 資に係る過	年度分の融	高級の別で 資残高の減	により減	少。	ДН о									
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間	目標	最終目標			目標	票・指標の	考え方・	積算根拠		
成果指標			(目標) 実績									貸付金で	あり、目標	設定は	困難				
活動指標	保証料補給	額	(目標) 実績	81,230	150,275	540,745						貸付金で	あり、目標	設定は	困難				
[事業の評価]	並生度の	中结, 出田七	亜生のウ皂が	-= □ /#			中纬大型	k± <i>>+ ←</i>	和7年度	の亦正	i上				,	≠ 坐 示/2	T		
	削牛及の	実績·成果指	宗寺の正里り	732年1四			夫領で追	まんだ下	和7年度	の変更				Τ_		事業評価			
													拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
		_						-	_			•	継続		休止		完了		
													整理統	合 □	廃止		その他		

金融貸付制度(利子補給補助金)

区分継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	\	部局名	産美	業労働部		課名	彩	Z 営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主体	中小企業者等			市 攻		自 治 事	務	事 ₩		美行予算	事業	H21	年度	事業終了		
事業実施方法	補助			事務区分				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	_	年度
補助率	0.50%					法定受託	事務			その他	年度	17	年	度)		
福井県長期ビジョン	分 野〔	Ⅱ 成長を創)	関連する	原の計画	前等	ر ب	<unew< td=""><td>/経済ビジ:</td><td>=^/</td><td></td><td></td><td>٦</td><td>1</td></unew<>	/経済ビジ:	= ^/			٦	1
における位置付け	政 策〔	7 未来志向	型の産業革新)						/ 小工// C ン .					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を	表す客観	朗的データ	タ]							
災害や経済危機が発生る際など、金利が中長			上減少に対応する費	聞を借入	れ	令和5年度	末制度	融資保	証残高	i1, 161 [,]	億円					
[事業目的]						<u> </u>										
規模が小さく信用力 援を図る。]の乏しい県内小規	規模事業者を対	対象にしたマル経資金	金への利子	子補約	合により、社	会経済的	情勢の変	変動に	よる不安	定要素	を抱える!	具内小	規模事業者の	の資金網	繰り支
[事業内容] 小規模事業者経営改善資金利子補給 補給率:0.5% 期 間:融資を受けた日から2年間(ただし、初めて利子補給を利用する者、または、借換え充当分を除く新規の借換分を対象とする)																
[受益者] 県内中小企	È業					[想定され	る受益者	当数]	約27,0	000社						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業 (実績)	名					業の有無 割分担	₩•	■ 無□ 有(役割分	· — — —	事業名					
市町との連携状況	一部の市町において 等の資金調達時の負		て補助制度を設けてお る。	り、中小企業	***	他與	や状況		一部の	都道府県	でも利子補	前給制度を 写	 尾施			

金融貸付制度(利子補給補助金)

区分							一部外	 	部局	名	産業労働部	3	課名	<u> </u>	圣営改革課	!	課長名	藤原	宏子
事業主	主体	中小企業者等							自 治	事		口身	ミ行予算	事業	H21	年度			
事業実施	拖方法	補助					事 務 区 分				事業区分	■ ネ	甫助 金	開始年度	経過年	汝	予定年度 (見直し年	_	年度
補助	率	0.5%					<i>–</i> 73		法定受	ઈ託事 系			その他	牛皮	17	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	債	その	の他		-	般財源			[国庫、その位	也財源0	D名称等		
予算額		13,459									13,459								
[予算額の推移	多等]																	(単位	立:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度				令和7	年度予算	算額の増減	理由			
	当初予算	額の推移		22,093	14,173	7,252	5,361	13,4	459										
2	月現計予	算額の推移		16,811	10,106	4,908	6,866			ロナ関連	連融資の取扱網	終了に伴	うマル経融	資の利用	月増				
	決 算 額	 〔の推移		16,825	9,457	4,339													
主な増減 [成果指標等の																			
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度「	中間目標	最終目標			目	標・指標の	考え方・	·積算根拠		
成果指標			(目標) 実績									貸付金	であり、目村	票設定は	困難				
活動指標	融資実行額 (マル経)	Ą	982,800	1,549,390						貸付金	であり、目村	票設定は	困難						
実績 62'7,750 982,800 1,549,390 1,											市上					中光型			
	<u> </u>	ノ夫領・以未拍信寺	の正重的	 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			夫領を路	まえた	二中和 / 4	中段の多	史		_			事業評価			
													」 拡充	t [縮減		終期の見直し	見直	し額
		_							_			•	■ 総総	. □	休止		完了		
] 整理統	統合 □	廃止		その他			

チャレンジ応援による若手起業家の創出・育成プロジェクト事業

区分拡	社 経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		産業労働部		 課名	経			課長名	 藤原	宏子
事業主体事業実施方法	県、(公財)ふく 補助、委託、直路	・ い産業支援センター		事務	•	自治	務	事業		実行予算補助金	事業開始	R4 経過年数	年度	事業終了 予定年度	R9	年度
補助率	県10/10			区分		法定受託	事務	区分		その他	年度	4	年	(見直し年 度)	119	十/又
福井県長期ビジョン 分 野 [I 個性を伸ばす(人材力)] 関連する県の計画等 [ふくいNEW経済ビジョン] [開決すべき問題・課題] [開設・課題を表す客観的データ]																
[解決すべき問題・課題	解決すべき問題・課題] [問題・課題を表す客観的データ]															
・希望に叶う仕事がないことによる若者の人口減少 ・希望に叶う仕事がないことによる若者の人口減少 場性 10歳代人口(2010年):40,967人→20歳代人口(2020年):34,577人 ▲15.6% 女性 10歳代人口(2010年):38,222人→20歳代人口(2020年):30,967人 ▲19.0% (出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告」)																
[事業目的]																
新たなアイデアをビ するとともに、起業													生や	若者の起業	マインド	を醸成
[事業内容] (1)学生・若者の起 ①大学・高専での ②若手起業家が集	ァントレプレナーシ	ップ教育(1,21	9千円)【直営】													

- (2)起業体験ゼミ(2,841千円) ※地プロ ①インターンシップによるビジネス体験(300千円)【直営】
- ②起業アイデア構想ワークショップ(2,541千円)【委託】
- (3)起業実践ゼミ(6,102千円) ※地プロ
- ①若手向けイントレプレナーシップ教育(371千円)【委託】 ②起業したい若者への伴走支援(5,731千円)【委託】
- (4)学生起業応援事業(950千円)【事業主体:ふくい産業支援センター】

[受益者] 県内で起業	笑を考える若者・学生	[想定される受益者数]	約300人
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 若手起業家チャレンジ支援プロジェクト事業 (実績) 約40名に対し起業に向けた支援を実施 ※R4~R5実績	関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)
市町との連携状況		他県の状況	

チャレンジ応援による若手起業家の創出・育成プロジェクト事業

区分	拡充	経費	運区分 政	放策的経費	要求	基準	内		部局	高名	屋	全業労働部		課名		経営改	文革課		課長名	藤原	宏子
事業主	È体	県、(公則	け)ふくい産業	支援センター			= ₹⁄7		自 治	当 事	務	≠ ₩	■ 身	 【行予算	事業		R4	年度			
事業実施	拖方法	補助、委	託、直営				事 務 区 分					事 業 区 分	■ ∤	輔助金	開始 年度	経	過年数		予定年度 (見直し年	R9	年度
補助	率	県10/1	0						法定	受託事	務			その他	平反		4	年	度)		
区分	事	業費	[国庫	起	.債	そ(の他		_	一般則	才源				国庫、	その他	財源の	名称等		
予算額		13,752	2	10,241								3,511	地域活	性化雇用額	削出プロ	ジェク	٢				
[予算額の推移	多等]																			(単位	立:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度					令和'	7年度予	算額の)増減理	曲			
	当初予算	額の推和	多		25,538	26,338	19,399	13,	752												
2	月現計予	算額の抽	 推移		25,538	23,488	13,963			学生起業	応援	経補助金を福	計型ス	タートアッ	プ創出	支援事	業に統	合整理	!		
	決算額の推移 19,954 19,825																				
主な増減 [成果指標等 <i>0</i>	以 连田			金の枠減(令和		J.C.I.VIIV															
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度	中間目標	標	最終目標			E	目標・指	標の考	え方・	責算根拠		
成果指標	事業全体が	らの開業作	 		(5) 4	(5) 4	(5) 3		(3)	(2)	0)	(50)	新規創	業件数							
活動指標	起業支援人	、数	(目標				(300) 315	(3	300)	(30	0)	(300)									
[事業の評価]	** 		* E TO O O O	3 + - = = / ==				v	A 100	7.5 th 0.5		-					=	- 244 = 77 /7	-		
			指標等の定量				実績を路	まえた	令和'/	/年度の変		<u> </u>						業評価			
大学でのアントレス の若者の起業機選 実施、引き続き起	₤の醸成。ビジネ	スアイデアが					の醸成から							■ 拡			縮減		終期の見直し	見直	し額
・県大でのアントレ ・キャリア探求講座	ノプレナーシップ	[°] 教育参加者数	(:延べ195名(計 数:延べ104名(·3回) 計14回)			E具現化する プレナーシッ			プや企業	的起	2業家を創出	はす [続 [休止		完了		
·Promoters(起	業伴走支援事業	美)参加者数:	7名	P: ' /] 整理	統合 [廃止		その他		

福井型スタートアップ創出支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名		産業労働部		課名	縚	営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主			くい産業支援センター		事務		自 治 事	務	事業		実行予算	事業	R4	年度	事業終了 予定年度		
事業実施		補助			区分				区分		補助金	開始 年度	経過年数		(見直し年	R9	年度
補助	率	2/3、10/10					法定受託	事務			その他	十反	4	年	度)		
	福井県長期ビジョン 分 野 [II 成長を創る(産業力)] 関連する県の計画等 [ふくいNEW経済ビジョン]		
[解決すべき問	央すべき問題·課題] [問題·課題を表す客観的データ]																
	決すべき問題・課題] 大学発スタートアップ数が全国41(令和5年度時点)と最下層 コーカルスタートアップの支援に加え大学発スタートアップの支援強化が必要 「問題・課題を表す客観的データ] 大学発ベンチャーの実態調査 1位 東京都、2位 大阪府、30位 石川県、41位 富山県、41位福井県 (R5 経済産業省)																
[事業目的]																	
これまでの5 成することで				県内の成長意欲が	高い事業	者へ0)成長支援	に加え	え、大学発活	スター	ートアップ(の支援を	強化し、礼	副井型 に	スタートアッ	プを創む	出·育
①スタートアッ 概要:大学等 対象者:個人	プ創出枠(1) の研究シース	0,036千円) 【	県】 央型などに関する創業 [。]	くい産業支援センター】 を支援	I												

補助額:上限100万円 補助率2/3 ※学生10/10 採択件数:10件

②スタートアップ成長枠(30,187千円)【ふくい産業支援センター】※「ふくい地域経済循環ファンド」運用益2,400万円を利用

概要:県内ベンチャー企業や大学発スタートアップの成長を支援

対象者:法人

補助額:上限300万円 補助率2/3

採択件数:10件

[受益者] 県内で創業	する者、大学研究者、県内企業	[想定される受益者数]	20人
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 新規創業支援事業 (役割分担) ・新規創業支援事業 →生活関連サービス業や飲食店業などのスモールビジネスの支援 ・福井型スタートアップ創出支援事業 →福井型スタートアップの創業や成長を支援
市町との連携状況		他県の状況	

福井型スタートアップ創出支援事業

区分	拡充	経	E費区分	政策的経費	要求	基準	内		部局名		産業労働部	課	名	彩	Z営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	主体	県・(2	公財)ふくい産	業支援センター				■自	治事	務		□ 実行	予算	事業	R4	年度			
事業実施	拖方法	補助					事 務 区 分				事業 区分	■ 補助	助金	開始 年度	経過年数	汝	予定年度 (見直し年	R9	年度
補助	率	2/3、	10/10					□法	定受託	事 務		□ その	の他	牛茂	4	年	度)		
区分	事	業費		国庫	起	債	そ(の他		一般	財源			3	庫、その何	也財源0	D名称等		
予算額		16,22	23	7,611							8,612	新しい地方	経済·生活	環境創金	上交付金				
[予算額の推移	多等]				_													(単化	位:千円)
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					令和7年	度予算	額の増減	理由			
	当初予算	額の推	移		20,000	11,000	11,000	16,22	:3										
2	3 初 7 算 額 の 推 移											1							
	—————— 決 算 額	 の推移	,		8,869	11,000													
前年度ま 主な増減 に成果指標等の	域理由																		
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間	月標	最終目標			日相	霊・指標の	考え方・	 ·積算根拠		
成果指標	売上増加企			· (12) 注積 7	(10)	(6)	(6)			(50)	(100)	補助金採排 ※採択年度		 うち、売	 上が増加し	 ノた企業			
活動指標	支援件数			l標) (6) _{発績} 12		(6) 6	(6) 7	(15	5)	(75)	(240)								
[事業の評価]	*		田北海佐の古				+ + -	V-1-2-4-A		↑ + Т	· -					 /	-		
	<u></u> 前年度の	り美績・成	果指標等の定	堂」			美績を踏	まえた令	和'/年度	の変更	点					事業評価	<u>曲</u>		
を達成できて	いる。また、	5年度から	ら、急成長を目	:おいても活動指 指す事業者向 	けに高補助						手厚くするた		拡充 継続		縮減 ———— 休止		終期の見直し	見直	し額
率、高補助上附令和6年度実統	績:①一般枠 ②重点枠 申	申請件請件数2個	数8件(うち6/ 件(うち1件採	件採択) 択)		め、創出枠	C 队 技作に	ガリ、文括	竹奴を増	∃ /JU			整理統		廃止		その他		

ふくい型ベンチャー・エコシステム強化事業

区分	払允	社員区分	以束的栓質	安水基华			部同名	座 耒力 側 市	話名	<u> </u>	全名以中誅	課長名	滕原	<u> </u>
事業主	主体	(公財)ふくい産	業支援センター		古沙		自 治 事	務事業	□ 実行予算	l Trans	R3 年度	事業終了		
事業実施	施方法	補助			事務 区分			事業区分	■補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	R9	年度
補助	率	県10/10			/3		法定受託事	■務	□ その他	年度	5 年	度)		
福井県長期における位		分 野〔 政 策〔		る(産業力) 事業展開の推進]	関連する	県の計画等	[ふくいNE	W経済ビジ	ョン)	
[解決すべき問	問題·課題]						[問題・課題を	表す客観的デー	- ·タ]					
人口減少や	構成変化は	は産業活動の縮	小をもたらす。								コは約33万人に 将来推計人口」			
[事業目的]														
ベンチャー 井型エコシ			じた経営戦略の	ブラッシュアップや	、若手起業	家の	育成・資金調	間達への支援 、	等を通じて、均	域内で人	、材·資金·技術等	等の経営資源	が循環で	する福
[事業内容]														
	ヤー企業支	援体制整備 目談窓口												
○ベンチ	Fャービジネ	ら啓発・成長支援 ス創出セミナー	_											
ONEX	ベンナヤ-	-プレゼン会(ミ	ニーヒツナ)											
○福井/ ○福井/ ○御IP(「ャー戦略氢 ベンチャーし アクセラレー O経営人材	換 ピッチ -ションメンタリ 育成プログラム	\											
O锄Ve	ntureDA	Y FUKUI×T	OKYOの開催											
[受益者]	県内中小企	業					[想定され	る受益者数]	約27,000社					
前事業の有	有無・実績	■ 無 □ 有 事 (実績)	業名					業の有無・ 削分担	■ 無 □ 有 (役割分担)	事業名				
市町との選	車携状況						他県	の状況	○石川県 ・スタートアップ ○富山県 ・とやまスター		精築事業 Startup」創出事業	*		

ふくい型ベンチャー・エコシステム強化事業

区分	拡充		経費区分	政策	的経費	要求	基準	内		部局	局名	産業	美労働部	彭	果名	彩	Z営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	主体	(2	〉財)ふくい産	業支援セ	ンター			= 26		自 治	当事	務	 אוג	□ 実行	予算	事業	R3	年度			
事業実施	拖方法	補	助					事 務 区 分					事業 区分	■ 補.	助金	開始 年度	経過年数	Ž.	予定年度 (見直し年	R9	年度
補助	率	県	10/10							法定	受託事	務		□ そ	の他	<u> </u>	5	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ī	起	債	そ(の他		_	般財源	Į.			囯	国庫、その代	財源の	名称等		
予算額		8	,828		4,414								4,414	新しい地ズ	方経済·生	活環境的	創生交付金	-			
[予算額の推利	多等]																			(単	位:千円)
	区	2	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度					令和7年	度予算	類の増減理	里由			
	当初予算	額の	推移		5,779	6,007	9,125	10,167	8,8	828											
2	月現計予	算額	の推移		5,779	6,007	9,125	7,033									度に見直し ≤し、事業費		でのピッチを目	指すベン・	チャー企
	決算額	の推	 ŧ移		5,139	5,713	8,356				> - - - -	()[()]([,,, C 47, C.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Chile?	Jece		- C // // DX			
主な増減 [成果指標等の			5年度は福井 6年度はNEX							きめ、 お	らよび新草	幹線開業 	だによるが	农費単価埠 ————	曽のため、፤	事業費力	が増加した				
	区		分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度	中間目標	票最	終目標			目相	票・指標の	きえ方・	積算根拠		
成果指標	新規上場企	È業数		(目標) 実績	(6)	(6) 1	(6) 4	(6) 5		(6)	((5)	(6)	令和3年原 ※平成23	度~12年底 3年度~令	度(10年 和2年原	F間)累計 度(10年間)実績3	件の2倍を目標	垂	
活動指標	 相談対応作	十米ケ		(目標)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50)	(50	0)	(50)	△和2年8	度実績50 [,]	件いし	た日煙				
		TXX		実績	79	69	79	79						134124-13	文大順JU	一 以工。	ᆫᆸᇄ				
[事業の評価]				~ -	I			 -/	V-1-> 1	^		L L					_	+ w = + h	-		
			成果指標等の定量的評価 実績を踏まえた令和7年度の変更点者の参加を達成。ピッチイベントについても毎年5名													=	事業評価	<u> </u>			
以上が登壇してお ※以下実績はR7	らり、今後も県内 1.1末時点	から上	場企業の創出を		ベントについて		・福井ベンラ保できるよ	チャーピッチ う東京都と				『水準の)登壇者を	産確 ■	拡充		縮減		終期の見直し	見直	0 (額)
・ベンチャー向けれ ・ベンチャービジネ ・福井ベンチャーと	トス創出セミナ <mark>-</mark> ピッチ登壇者数	-参加者 :6名	後347名				・新規上場かを体系的が	企業数を促っつ実践的に	進するだ	ため、I	POに必				継続		休止		完了		
・福井ベンチャーb ・福井アクセラレー	ピッチ参加者数 -ションメンタリ 	:433名 ング参加	3 加者数:8名 ————————————————————————————————————				ムを創設。								整理統分	合 口	廃止		その他		

先進技術活用による地域開発プロジェクト

区分	継続	経費図	区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	産業労働	部	課名	Ý	経営改革課		課長名	藤原	宏子
事業主	E体	県				-		自 治 事	務		■ 実行予算	事業	R6	年度	事業終了		
事業実施	地方法	委託				事務			事業区分		」 補助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	R8	年度
補助	率	_				L /3		法定受託	事務		」その他	年度	2	年	度)		
福井県長期における位		分 政	野〔		める(総合力) ふくい」の行政運営) 1	関連する	県の計画等	1	(ふくいNEV	/経済ビジ	ョン)	
[解決すべき問			ж (17 . 7 . 2			,	[問題・課題を	表す客観的デ	<u>ー</u> 夕]							
本県が抱え	える地域課	題をビジネ	ネスを通	通じて解決する	事業者の発掘						5川県3.619 用保険事業		県3.12%	、全国	4.34%		
[事業目的]								!									
					げた「幸せ実感プロ て期待されるイン <i>!</i>								:通じて解	決する	若手起業家	を公募・	事業
	舌用による >アップ枠	地域開発了	プロジュ	ェクト(9,000	千円)												
テー	マ:経営改	(革課が各語	部局と	協議し決定した	すスタートアップ(1:地域課題(事業者の	の成長状況)の に応	発掘・支援 ぶじて課題を	設定)								
委託」	者:創業後 上限:300 牛数:3件		」で備チ	F県内を拠点に	事業活動を行う者												
父印订	190.011																
[受益者]	地域課題解	決とビジネス	スの両立	を目指すスタート	アップ企業			[想定され	る受益者数]	3	社						
		□無									無						
		■有	事業	名 事業化支援	受事業							事業名					
 前事業の有	無·実績	(実績)							業の有無・	(1	役割分担)						
	2 3,23	(令和5年度)6社申記	請、2社採択				(Circles)	割分担								
				で事業を実施中													
	- 144 1155								- 100-								
市町との連	E携状況							他県	の状況								

先進技術活用による地域開発プロジェクト

区分	継続	経費区2	分 政策	的経費	要求	基準	内	部	局名	産業労働部	ß	課名	紹	E営改革課		課長名	藤原	宏子			
事業主	E体	県					-t- 76	■自	治事	務		実行予算	事業	R6	年度						
事業実施	施方法	委託					事務区分			事業区分		補助金	開始 年度	経過年数	Ţ	予定年度 (見直し年	R8	年度			
補助	率	_						□ 法定	受託事			その他	牛皮	2	年	度)					
区分	事	業費	国庫	Ī	起	債	そ0	D他	-	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額		9,000								9,000)										
[予算額の推動	多等]				_												(単位	ː:千円)			
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度				令和7	年度予算	額の増減理	曲						
	当初予算	額の推移					9,000	9,000													
2	月現計予	算額の推移	;				9,000														
	決 算 額	 [の推移							-												
前年度 主な増減 主な増減 [成果指標等の	域理由																				
	区	分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目	標最終目標			目相	票・指標の考	きえ方・	責算根拠					
成果指標	事業拡大し	た企業数	(目標) 実績				(3)	(3)			他自治	他自治体等から事業発注した企業数									
 活動指標	 支援件数		(目標)				(3)	(3)			採択件	· 类 7									
加到山小	又及日致		実績				3				11)/[[9 X									
[事業の評価]	芸左连 0	20年 子田长垣	悪なの白目が	= 		ı	中生七叶	(+ > + A10	ロケー					Ħ	5 77 50/0	T					
	<u> </u>	の実績・成果指標	宗寺の正重的	部1曲			- 美領を蹈	まえた令和	7年度の	変史只					業評価						
												□ 拡充		縮減							
3社の採択(支	(本) 本/寺(土)													MH 119%		終期の見直し	見直	ン額 			
択企業への発	(族)を達成し 注に繋げてし	」、地域課題解決 いく。	央事業の取組	を実施した	₺。今後、採			_			1	■継続		休止		終期の見直し 完了	見直	<i>J</i> 額 ───			

新規創業支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内		部局名	Ī	産業労働部		課名	課名 経営		経営改革課			課長名	藤原	宏子
事業主	体	商工会·商工会	議所		市功		自 治 事	務	中 ***		実行予算	事業	R3	年度	事業終了				
事業実施	方法	補助			事務 区分				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R8	年度		
補助習	率	県10/10			- /3		法定受託	事務	<i>– /</i> 3		その他	年度	5	年	度)				
福井県長期は		分 野〔	Ⅱ 成長を創	る(産業力))	関連する	ふ 旦の ■	計画等	l r	ふくいNEW	/終済ビジ:	-			١			
における位		政 策〔	6 創業·新事	幕業展開の推進)				,	731 Z C 11 N L V V	ルエハロンコ				,			
[解決すべき問	題·課題]						[問題・課題を表す客観的データ]												
本県の開業	率は全国平	∑均よりも低い	水準で推移してい	\る。	開業率:福(厚生労働				県3.16% 保険事業 ³		2.95%、	全国	3.81%						
[事業目的]	[事業目的]																		
			A.1.111/ 1					- 0			· · ·				,				

県内で新たに創業を行う方を対象に、創業に要する経費の一部を支援するとともに、女性のための創業セミナー及び商工団体の経営指導員を対象に資質向上を図るセミナーを 開催することにより、地域経済の活性化、雇用機会の拡大及び創業支援体制の強化を図る。

[事業内容]

- (1)創業支援補助金
 - ○補助対象者:下記の要件を全て満たす方
 - ・県内で新規創業を行うこと
 - ・商工会・商工会議所等の支援機関の指導を受けて事業計画を作成し、かつ、創業後も継続して経営指導を受けること
 - ○補助上限額:200千円
 - ○補助率 :2/3以内
 - ○補助対象経費:事業拠点開設/新商品・サービス等開発/販路開拓等、新規創業に要する経費
 - ○補助件数 :200件(うち女性枠30件)
- (2)女性創業セミナー

創業に興味のある女性や創業準備中の女性を対象とした女性創業セミナーを開催(年6回)

(3) 資質向上セミナー

商工会・商工会議所の経営指導員向けに創業指導に係る資質向上セミナーを開催(年2回)

[受益者] 新規創業者	i	[想定される受益者数]	200者							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)	関連事業の有無・ 役割分担	□ 無 ■ 有 事業名 福井型スタートアップ創出支援事業 (役割分担) ・新規創業支援事業 →生活関連サービス業や飲食店業などのスモールビジネスの支援 ・福井型スタートアップ創出支援事業 →福井型スタートアップの創業や成長を支援							
市町との連携状況		他県の状況	○石川県・石川県創業者無利子補助金○富山県・ワクワクチャレンジ創業支援事業							

新規創業支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求	基準	内	:	部局名		産業労働部	3	課名		経営	改革課		課長名	藤原	宏子			
事業主	主体	商工会·商工会	議所				■ 自	治 事	務	M4		実行予算	事業		R3	年度						
事業実施	拖方法	補助				事 務 区 分				事 業 区 分	■ 1	補助金	開始	紹	過年数		予定年度 (見直し年	R8	年度			
補助	率	県10/10				1	口法	定受託	事 務	L 23		その他	年度		5	年	度)					
区分	事	業費	国庫	起	遺	そ(の他		一般	財源		国庫、その他財源の名称等										
予算額		41,942	20,97	1						20,971	新しい	新しい地方経済·生活環境創生交付金 										
[予算額の推移	多等]																	(単位	立:千円)			
	区	分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度					令和7	'年度予	算額(り増減理	曲						
	当初予算	額の推移	30,97	4 30,974	35,072	42,160	41,94	2														
2	月現計予	算額の推移	30,97	4 30,974	35,072	42,160		セミナ	一会場	景の減額												
	決算額	[の推移	30,35	6 30,486	33,687																	
主な増減 [成果指標等の																						
	区	分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間	目標	最終目標			E	目標・扌	旨標の考	え方・	積算根拠					
成果指標	開業率(%)	(目標) (² _{実績} 2.97		(4) 2.59%	(4)	(2	1)	(4)	(4)	厚生労	·働省「雇用·	保険事	業年報	弘、全国	平均以	上目標					
活動指標	(月煙) (30				(600) 819	(750)	(900)) (1,1	00)	(1,100)	令和2年	年度~8年	度(7年	間)累	計、長期]ビジョ	iンのKPI					
[事業の評価]	前午度 <i>0</i>	D実績·成果指標等	の字号的証価		1	宇结太阪	まえた令	和7年度/	かが再	占					#	業評価	T.					
	削午及0	ノ夫棋・以未拍信寺	の正重的評価			夫領で邱	まえたで	仙 / 平皮(ル変史	.从												
	ついて 生々	ᄗ	今和4 年中									元 I		縮減		終期の見直し	見直	し額				
創業補助金に は156件(R6 標どおり達成。	.12末時点)	下和0年度 援件数を目		_					[□ 継糸	売 [休止		完了		218					
	水										[□ 整理網	統合 [廃止		その他					

県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業

区分	継続			内		部局名	産	業労働部	謝部課名		経営改革課			課長名	藤原	藤原 宏子		
事業	主体	県			-	= 2h		自 治 事	務	+ **		実行予算	事業	R5	年度	事業終了		
事業実	施方法	直営				事務				事 業 区 分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	R8	年度
補助	加率							法定受託	事務	<u> </u>		その他	年度	3	年	度)		
福井県長期における信		分 致 章	野〔 策〔	Ⅱ 成長を創 6 創業・新事	る(産業力) 『業展開の推進)	関連する	県の計	画等	ί	ふくいNEW	/経済ビジ:	ョン)	
[解決すべき	問題·課題]							[問題・課題を	表す客	観的データ	タ]							
	人口》	咸少に伴う!	地域経	経済の縮小、活力	りある若者の流出			204								3万人に減少 問題研究所)		0
[事業目的]																		
					、期待されることか 行い、県内企業との				より、高	島い事業	成長	や新しい	価値づく	りに取り約	胆む県	内成長企業	を拡大す	る。こ
[事業内容]	1 >	- 16=n .	Д Д Ш	K-1-10- 10-	7		_+		° & k±+		4 0							
○民間イン	オユベーシ	ヨン施設へ	の企業	(支援ナームの)	入居および首都圏に	こおける有	望人	ダートアツラ	ひ情報	版以集【4	4, 9.	37十円】						
入居組織	産業労働	部イノベー	ション	推進チーム(経済	営改革課、産業技術	課、工業技	支術も	2ンター等で	構成)									
賃貸物件	4名対象(の個室オフィ	ィス 月	月額141千円														
」 勤務形態	堆准 工—	1.04~11.	一たけ	ふとして 党時	;2名が交代勤務。イ	′ベント笙!	ーおと	↑#7早+ <i>1</i>	タが革	h ぶ 久								
]性にノー・	ムのメンハ	~ T	ᄱᅜᆫᅜᇨᄼᆑᄳ	「乙つハメハ動が。」	ハンドもの	C001	プロで取入4	ついす	J47 7								
業務内容	CIC東京	を活用した	:県内①	E業と共創可能	の協働によるテック 性のある有望スター 長支援活動の企画	ートアップ()ビジ の情	ネスマッチン 報収集・営業	ノグや 第 活動。	所規事業	共創	一イベント等	等の開催((各月1回程)	程度)。			
入居開始	令和6年8	8月5日から	ò															
 [受益者]		· **						 【想定され	ス	 玄 数1	約2'							
[文皿日]	УКЬ 3.17.Т	■ 無						LIEVALCI	<u> Ф</u>	H W.]	#JZ							
前事業の有	有無·実績	■	事業	名					業の有類 割分担	₩•			事業名					
市町との	連携状況							他県	その状況									

県都まちなかにおけるイノベーション創出推進事業

区分	継続				要求基準		内		部局	名	産業労働部	部	課名	課名 経営改革課				課長名		藤原 宏子		
事業主	E体	県						- - 2 /2		自 治	事		•	実行予算	事	ž	R5	年度				
事業実施	拉方法	直営						事 務 区 分				事業区分		補助金	開始		経過年数		予定年度 (見直し年	R8	年度	
補助	率	_								法定员	受託事務			その他	干店	支	3	年	度)			
区分	事美	業費		国庫		起·	債	そ(の他		-	投財源				国国	1、その他	財源の)名称等			
予算額		4,9	37		647							4,290	O 新し	い地方経済	·生活環	環境創:	生交付金					
[予算額の推移	多等]																			(単位	立:千円)	
	区	分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度	令和7年度予算額の増減理由											
	当初予算	額の推	推移					0	4,9	937												
2	月現計予	算額の)推移				103,354	0		E	民間インキ	ユベーション	/施設雪	整備補助終了	こによる	減						
	決算額	の推利					0															
前年度ま 主な増減 [成果指標等の	域理由																					
	区	分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年	度	中間目標	最終目標	Į .			目標	・指標の考	え方・	積算根拠			
成果指標	新規上場企	業数		(目標) 実績	(6) 0	(6) 1	(6) 4	(6) 5		(6)	(6) (6	1717	13年度~12 ⁷ 成23年度~	2年度(1 ~令和2	10年間 2年度	間)累計 (10年間))実績3	3件の2倍を目標			
】 活動指標	 県企画イベ	ントの問	催	(目標)				(7)		(7)	(7) (7)									
	八正區十八	ΣΙ Φ ΣΙΣΙ.	JIE .	実績				16														
[事業の評価]		中华. 叶	:田比梅华/	N 후 본 Mi	= 17 / I			中华大型	k± > +	<u> </u>	生産の赤	西 占					뒴	= *¥ =₩/:	<u> </u>			
	削平歧0	大領・内	は果指標等の	//正里的	3半1四			夫領を始	まんだ	'中仙 /	'年度の変	史从						業評価				
														□ 拡	流		縮減		終期の見直し	見直	し額 	
	・県内企業と県内企業のビジネスマッチングを目的としたイベントを計1 開催し活動指標目標を達成									_				■総	Ľ続		休止		完了			
									□ 整理	統合		廃止		その他								